

公益社団法人 日本天文学会 理事会議事録

日 時：2020年9月7日（月） 16時00分～18時00分

場 所：秋季年会（弘前大学）

（本理事会は COVID-19 感染拡大防止対策のためオンラインで開催された）

出席理事：梅村、田村（元）、寺田（馬場）、鈴木、伊王野、鹿野、早野、長瀧、松田、酒井、富田、田村（陽）、小出、久野、浅田、佐藤（文）、山村

出席監事：関井、大石

また、佐藤事務長、黒岩事務長補佐、田口谷事務長補佐が出席した。

I. 確認事項など

I-1. 議事に先立ち、出席者が17名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。

I-2. 前回議事録の確認

資料2、3に基づき、前回（2020年5月23日）の理事会議事録および2020年8月の電磁的決議の議事録が報告され、承認された。

II. 議題

II-1. 新規加入者および移籍（準 → 正）の承認（資料4、伊王野）

2020年5月16日～2020年8月31日までに正会員入会申請94名、準会員入会申請13名、移籍（準 → 正）11名の申請があり、賛成多数で承認された。

II-2. 年会時の懇親会への資金補助について（資料5、鹿野）

日本天文学会年会時の懇親会は、参加者から集める参加費による完全な独立採算制を採用している。近年は、過去の懇親会で出た余剰金の預かり金から若干の補助も行っているが、その余剰金残高が減少しており、来年度には補助を打ち切らざるを得ない状況である。そこで年会懇親会の安定的な実施のために、以下の提案がされた。

- 学会からの補助は継続し、その財源は、余剰金の預かり金を基本とするが、それが枯渇した際には、天文学会の法人会計をそれに充てる

なお、開催地には、地方自治体等の支援制度をできる限り活用してもらうこととする。賛成多数で承認された。

II-3. 日本天文学会研究奨励賞受賞資格変更提案書（資料6、馬場）

日本天文学会研究奨励賞の受賞資格は厳格に年齢で制限されており、産休育休や傷病などで一定期間研究を離れざるを得なかった優秀な若手研究者が参加しづらい状況を作り出している。このように、やむを得ない事情で一定期間研究を離れる優秀な若手研究者に対して本賞を授与することができていない可能性がある。そこで、日本天文学会研究奨励賞内規および募集要項の受賞資格の改訂案が示された。文言の修正後、賛成多数で承認された。

II-4. 2021年以降の年会記者発表での教育普及賞の取り扱い（梅村）

日本天文学会では様々な賞を授与するが、年会時の記者会見で取り上げられるのは日本天文遺産のみである。他の賞は、代議員総会の承認後に日本天文学会ホームページに公開されるが、ウェブのみでは情報が広く周知されないことが懸念材料である。今回、教育普及賞選考委員会から、年会の記者発表で紹介してほしいという要望を受けている。教育普及賞のみ紹介するのか、他の賞においても同様に情報を発信するのか、実務理事会および次回の理事会で議論することとする。

II-5. キャリア支援委員会の委員の交代について（資料 11、鈴木）

キャリア支援委員会の新委員として近藤寛人（名古屋大 D1）、古郡国彦（名古屋大 M2）が提案された。現委員の伊師大貴（都立大 D2）、福島碧都（都立大 D1）が退任する。賛成多数で承認された。

II-6. ジュニアセッション参加者の天文学会一般講演聴講について（資料 12、山村）

日本天文学会春季年会で行われているジュニアセッションの参加者が、ジュニアセッション以外の研究発表を聴講（ポスター閲覧含む）する際の参加費の支払いについて、以下のように取り扱うことが提案された。

- ジュニアセッションで発表を行う生徒を引率する研究指導者については、生徒の教育指導の参考とすることを目的とする場合、発表1件につき1名までは参加費を徴収しない。なお、ジュニアセッション自体の参加・発表については、登録料・参加費は無料である。また、ジュニアセッションで発表を行う生徒については、従来通り参加費を徴収しない。賛成多数で承認された。

検討課題：

年会費と年会参加費について（資料 7、鹿野）

年会費と年会参加費の見直しは、前期理事会からの継続案件であり、近い将来に修正案をまとめる予定である。学会予算の現状説明および複数の典型的修正案とそれによる影響の考察が提示され、議論がされた。継続審議とする。

III. 報告

III-1. 移籍・退会等の報告（資料 4、伊王野）

2020年5月16日～2020年8月31日までに正会員退会6名、準会員退会3名があった。

III-2. ネットワーク委員会からの報告（資料 8、田村陽）

日本天文学会のホームページのリニューアルが進んでいる。若干のスケジュールの遅延があるものの、大きな障害なく進行していることが報告された。

III-3. 天文教育委員会からの報告（資料 9、富田）

天文教育フォーラム（「オンライン天文教育の可能性：小学校から大学院まで」）が9月8日に開催される。また、講師紹介プログラム、監修者紹介プログラム、ウェブサイト、女子中高生夏の学校、IAU OAEについての報告がされた。

III-4. 天文学振興財団「古在由秀賞」および「吉田庄一郎記念・ニコン天文学業績賞」について

天文学振興財団より「古在由秀賞」および「吉田庄一郎記念・ニコン天文学業績賞」の選考委員の推薦依頼があった。理事会、代議員総会での申し合わせに基づき、現林忠四郎賞選考委員会委員の7名を推薦し、全員が選考委員会に就任したことが報告された。

III-5. 記者会見について（田村元）

9月7日にオンライン記者会見が行われ、学術発表が2件、日本天文遺産の発表が3件あった。約15名の記者の出席が確認された。学術発表と表彰発表を同時に行うことの可否については今後議論することとする。

III-6. 事業担当理事の近況

月報（松田）：PASJ論文報告賞の原稿は入稿済みであり、数ヶ月で出版される予定である。今後、SPICAとニュートリノ天文学特集が予定されていることが報告された。

PASJ（長瀧）：2019年版のインパクトファクターは過去最高の5.024だった。PASJの電子化作業に関する検討が進んでいること、VERA特集が8月号に掲載されたこと、およびCOVID-19の影響は今のところ軽微に抑えられていることが報告された。

年会（酒井）：8月27日に接続先情報が配布されたこと、講演者のバックアップファイルが提出されたこと、および年会の後にアンケートを実施する予定であることが報告された。アンケートでは、オンライン開催についての感想のほか、「銀河形成」セッションを「銀河形成進化」に変更することについて聞く。

III-7. 事務所の近況報告（佐藤良）：特になし。

III-8. 今後の年会進捗状況報告（佐藤文）：現地開催を想定して部屋を確保してあるが、現状では、COVID-19の影響により学区内では学会規模の会合は禁止されている。また、学内での懇親会の開催は現状では難しいことが報告された。

[資料リスト]

資料1 理事会出欠表

資料2 公益社団法人日本天文学会理事会（2020年5月23日）議事録（案）

資料3 公益社団法人日本天文学会理事会（電磁的決議）議事録

資料4 加入者の承認。移籍の承認・報告、退会の報告

資料5 年会時の懇親会への資金補助について

資料6 日本天文学会研究奨励賞受賞資格変更提案書

資料7 年会費と年会参加費について

資料8 ネットワーク委員会活動報告

資料9 天文教育委員会より、前回理事会(2020年5月23日)以降の活動報告

資料10 天文学振興財団「古在由秀賞」および「吉田庄一郎記念・ニコン天文学業績賞」について

資料11 キャリア支援委員会の委員交代について

資料12 ジュニアセッション参加者の天文学会一般講演聴講について

2020年9月7日

会 長：梅村 雅之 印

副会長：田村 元秀 印

副会長：寺田(馬場) 彩 印

監 事：大石 雅寿 印

監 事：関井 隆 印